

No.36

2011.1.21

# いしかわの遺跡



加賀郡勝示札と古代北陸道

古代の「お触れ書き」である加賀郡勝示札は、平成12年、津幡町加茂・舟橋地内に位置する加茂遺跡から出土しました。

加賀郡勝示札は、年号が記された古代勝示札の唯一の資料で、その内容からは、農業を勧めるための命令やその伝達方法、文書による行政の姿、社会の様変わりなど、当時の状況を具体的に知ることができ、その記録性が高いものであるということから、平成22年6月29日、重要文化財に指定されました。

※重要文化財とは、文化財保護法に基づき、建造物や美術工芸品などの有形文化財のうち、特に重要なものとして国(文部科学大臣)が指定した文化財です。



加賀郡勝示札の出土状況

財団法人 石川県埋蔵文化財センター

Ishikawa Archaeological Foundation

〒920-1336 石川県金沢市中戸町18番地1

TEL 076-229-4477 FAX 076-229-3731

E-mail mail@ishikawa-maibun.or.jp

ホームページ <http://www.ishikawa-maibun.or.jp/>

## 加賀郡榜示札解説(その1)

### 加賀郡榜示札とは

加賀郡榜示札は、9世紀の中頃に作られた木簡で、加賀国加賀郡から出された命令などを記し、北陸道のそばに掲示されたものです。榜示札には「嘉祥」(848~851)の年号があり、平安時代前期の勸農政策や情報伝達の方法を知りうる重要な資料となっています。

#### 材質・大きさ・形

ヒノキの板材を用いており、縦23.7cm、横61.3cm、厚さ1.7cmです。上端、下端が欠けていますが、復元すると縦約29cmとなり、古代の文書と同じ縦1尺・横2尺の大きさになります。また、掲示のための切り込みや穴があけられています。

文字は27行にわたって書かれており、349字が確認できます。文字の墨はほとんど消えています。墨のもつ防腐作用により字画部分が風化をまぬがれ、周囲より盛り上がった状態で残っていました。

#### 書式と構成

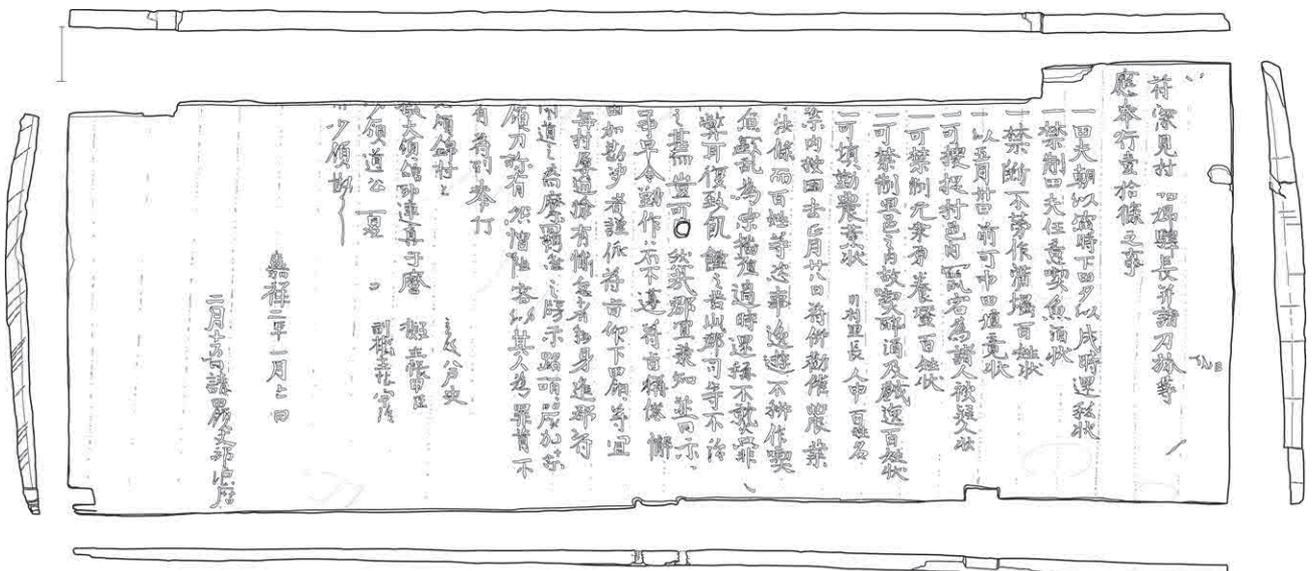
古代文書の様式にしたがって書かれており、次の七つの部分から構成されています。

- ①事書(あて所など)、②八カ条の命令、③加賀国符(加賀国の命令)、④加賀郡符(加賀郡の命令)、⑤加賀郡司(郡の役人)の署名、⑥施行年月日、⑦受取日・受取者の署名

#### 文書の発信から加賀郡榜示札の掲示・口頭伝達まで

1月末に加賀国から出された命令は、2週間余りで加賀郡内の有力者や村民に伝えられました。

- (1) 嘉祥□年正月二十八日付 加賀国から加賀郡へ加賀国符(加賀国の命令文書)が出される。
- (2) 嘉祥□年二月十二日付 加賀郡から郡内へ加賀郡符(加賀郡の命令文書)が出される。
- (3) 嘉祥□年二月十五日付 加茂在住の田領(郡の役人)が加賀郡符を受け取る。
- (4) 嘉祥□年二月十五日以降 田領は二つの方法で命令を周知する。
  - ①加賀郡符をヒノキの板に書写し加賀郡榜示札を作成、北陸道のそばに掲示する。
  - ②田領が村々をまわって口頭で伝える。



加賀郡榜示札実測図 (縮尺: 1/4)

## 加賀郡榜示札解説(その2)

### 加賀郡榜示札「八カ条の命令」

加賀郡榜示札には農業の奨励を目的とした「八カ条の命令」が書かれています。これは、深見村の「駅長」「刀禰」といった「村里の長」に向けて出されたもので、長たちは村内のようすを把握し、郡へ報告することが義務づけられていました。

#### 「八カ条の命令」〈読み下し文と内容〉

一つ、**田夫、朝は寅の時を以て田に下し、夕は戌の時を以て私に還すの状。**

田夫(農作業に従事する人)の作業時間を定めた条文です。寅の時(午前三時から五時頃)から戌の時(午後七時から九時頃)まで、長時間の作業を命じています。

一つ、**田夫、意に任せて魚酒を喫ふを禁制するの状。**

田夫が意のままに魚酒(ごちそう)を食べることを禁じた条文です。田夫は、農繁期に百姓に雇われて農作業に従事し、その報酬として魚酒を振る舞われました。

一つ、**溝堰を勞作せざる百姓を禁断するの状。**

水路や堰の維持・管理を行わない百姓を罰するという条文です。百姓とは営田者(農業経営者)のことで、水路や堰の管理は農業の根幹に関わる重要な仕事でした。

一つ、**五月卅日前を以て、田植の竟るを申すべきの状。**

田植えの終了時期を定めた条文です。田植えの遅れによって稲が十分に稔らず、収穫量が減ることを防ぐため、五月三十日までに終えて、報告するよう命じたものです。

一つ、**村邑の内に竄れ宍みて諸人と偽ると、疑はる人を捜し捉ふべきの状。**

村のなかに隠れ潜んで、村人と偽る人を捕らえるように命じた条文です。税の負担をのがれるため、本籍地を離れて浮浪する人を取り締まることを目的としたものです。

一つ、**桑原无くして、蚕を養ふ百姓を禁制すべきの状。**

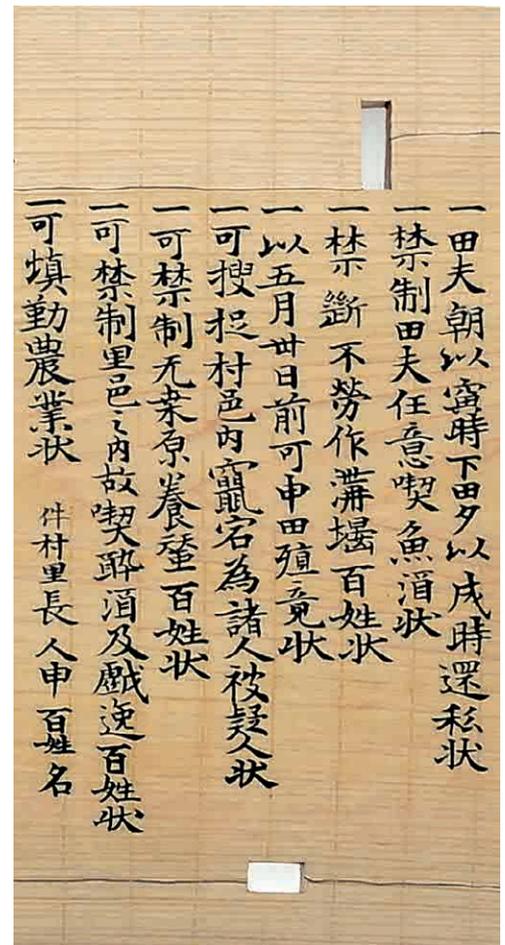
養蚕によって作られる絹織物は、調という税の対象になっていました。郡はこの税を確実に集めるために、隠れて養蚕する百姓を取り締まったのです。

一つ、**里邑の内にて故に酒を喫ひ酔ひ、戲逸に及ぶ百姓を禁制すべきの状。**

村のなかで酔って戯れ、秩序を乱す百姓を取り締まることを命じた条文です。飲酒によって農作業がおろそかにならないよう、日常生活に規律を求めたものです。

一つ、**農業を慎勤すべきの状。**

前記七カ条に加えて、農業に励むよう命じています。



「八カ条の命令」(復元品の部分)

## まいぶん考古学講座「加茂遺跡と北加賀の古代」

センター職員が考古学や埋蔵文化財に関して、わかりやすく解説する公開講座です。今年度は加賀郡勝示札の内容や加茂遺跡の特徴を解説するため「加茂遺跡と北加賀の古代」をテーマとして、5月30日(日)から3週連続の講座を開催し、まいぶん友の会々員や加茂遺跡が所在する津幡町の住民など、毎回40名を越える方々の聴講がありました。

第1回(5/30)は「潟縁の古代社会」を副題に加茂遺跡発掘調査の概要を踏まえ、古代北陸道や加賀郡勝示札の発見と、それに関係したとみられる河北潟沿岸の古代遺跡などを紹介しました。

第2回(6/6)では、古代の「お触れ書き」である加賀郡勝示札を読み説き、古代国家が行った農業政策や情報伝達の方法などを詳しく解説しました。

第3回(6/13)では、勝示札の冒頭にある「深見村」の特徴を『加茂遺跡発掘調査報告書』に取りまとめた成果から具体的に説明しました。



講座第2回の様子



講座第3回の様子

### 出前教室

## 移動講座「まいぶん出り張り」かがを掘る・のとを掘る

「かがを掘る」は平成22年6月27日(日)、能美市立辰口図書館で開催しました。報告は「発掘調査から能美の王墓を考える」と題し、史跡整備が完了した秋常山古墳や和田山・末寺山古墳群を中心に市内の古墳などを紹介したほか、能美市教育委員会にもご協力いただき、秋常山古墳群の出土品なども展示・解説しました。

「のとを掘る」は平成22年7月11日(日)、輪島市文化会館で「古代小屋郷、中世大屋荘について」の報告と、時国古屋敷遺跡、道下元町遺跡などの出土品を展示・解説しました。どちらの会場も熱心な参加者が多く、出土品の展示もたいへん好評でした。



報告の様子 (左:かがを掘る、右:のとを掘る)



展示解説の様子 (上:かがを掘る、下:のとを掘る)

出前  
教室

## 親と子の発掘体験教室

恒例の親と子の発掘体験教室は、小学校4～6年生の児童と保護者を対象に、実際に遺跡の発掘を体験できる教室です。

平成22年度は、6月19日(土)に白山市道村<sup>どうむら</sup>B遺跡、7月24日(土)に宮保<sup>みやぼ</sup>B遺跡で2回開催し、それぞれ9組20人、18組40人の参加者が遺跡の発掘、掘り出した土器<sup>せんじょう</sup>の洗浄体験などを行いました。

道村B遺跡では、さわやかな天候のなか、大きな土器の破片を掘り出す姿がみられ、また、参加人数を小規模にしたことから、多くの小学生の素朴な疑問や保護者の鋭い質問に答えることができ、これまで以上にコミュニケーションがはかられた教室となりました。

宮保B遺跡では、炎天下のなか、汗をいっぱい流しながら、土器を見つけようとがんばる小学生と保護者の姿が印象的でした。また、掘り出した土器を職員に質問し、室町時代の井戸跡の深さに驚きの声を上げ、土器洗浄体験では、自分で掘り出した土器をうれしそうに洗うなど、子供たちのいろいろな表情がみられました。

遺跡、発掘調査、土器、歴史(考古学)...

いろいろな発見があった貴重な一日だったと思います。

君たちは「こども考古学者」！認定！！



発掘体験の様子



土器洗浄体験と「こども考古学者」認定書授与の様子

土器を見つけた子供たちの様子

古代  
体験

古代体験ひろば 体験工房

平成22年も、体験工房は友人や家族連れなど多くの方々に、ご来館いただいています。その中でも、特に賑わいをみせたのは、春と夏に開催した期間限定メニューでした。

春のゴールデンウィーク(4/29~5/9)に開催した「手形・足形づくり」は、今年で4年目を迎える未就学児を対象としたメニューです。今年約500組ものご家族に体験いただきました。縄文時代に子供の成長を願ってつくられたと思われる土製品を参考としたこのメニューの開催期間、縄文時代も今も変わらない、家族への「想い」が体験工房に満ちあふれ、春の日差し同様、あたたかな空気に包まれました。

夏休み期間中(7/17~8/9)に開催した「はにわづくり」体験は、1,200人を超える方々に体験いただいた大人気メニューです。小学生以上を対象に、小松市矢田野エジリ古墳から出土した埴輪を参考にしてつくられた「はにわ」は、どれ一つとして同じ表情はなく、いずれの体験も、思い思いの「古代」を感じながら体験いただけました。



4月29日~5月9日  
ゴールデンウィーク  
「手形・足形づくり」



7月17日~8月9日  
夏休み「はにわづくり」体験

古代体験学習講座 「弥生の玉づくり」

今年度第1回目の古代体験学習講座「弥生の玉づくり」を5月23日(日)に開催しました。

講座参加者は、遺跡からの出土品を見ながら玉づくりの歴史について学んだ後、弥生時代に行われていた方法と同じように砥石とキリを使った特製のまが玉づくり、管玉づくりや、ガラス棒を溶かしてビーズづくりに取り組み、自分だけの首飾りを完成させました。

弥生時代、北陸地方で盛んに行われていた玉づくりの「ワザ」を実際に体験したことで、このような「玉」が当時とても貴重なものであったことを理解していただけたようです。



できあがった首飾りを胸にみんなで記念撮影

## 第12回 いしかわの発掘展 「遊戯具の誕生～出土品にみる遊び～」

第12回いしかわの発掘展「遊戯具の誕生～出土品にみる遊び～」を、平成22年7月16日～8月31日の期間、本館の研修室及びホールを会場に開催しました。今回の展示では、県内各地の遺跡から出土した、主に鎌倉～江戸時代の遊びの道具に焦点をあて、そのルーツを探るとともに、大人や子供が夢中になった遊びについて紹介しました。

### ホール展示「遊び いま・むかし」

ホールに懐かしい一昔前の遊びの道具や、遊びの風景写真を展示し、遊びの世界への誘いとなりました。

### 展示コーナー①「まじないから遊びへ」

古くから災いを払う儀式が行われてきました。そのなかで邪氣を払うための道具から羽子板、独楽、人形などの遊戯具が登場したことを説明しました。

### 展示コーナー②「競い合う遊び」

茶の銘柄を当て合う「闘茶」や、香の種類を当てる「香合」について紹介しました。また、双六・将棋・囲碁などの盤上で競い合う遊びについても出土品を展示し、遊び方をパネルで紹介しました。

### 展示コーナー③「子供の遊び」

金沢城下町から出土した土人形類を中心に展示しました。人物だけでなく動物や七福神をかたどったもの、ままごと用のミニチュア、箱庭道具などもあります。

### 展示コーナー④「絵にみる遊び」

相撲が描かれた板絵や、絵が刻まれた土器や陶器を通して、遊びの心を探ってみました。

会期が夏休み期間中という事もあり、親子での見学が多く、特に「子供の遊び」のコーナーでは、興味深げに展示ケースをのぞき込む子供たちの姿が多く見かけられました。



主な展示品



展示見学の様子



展示ケースをのぞき込む子供たち

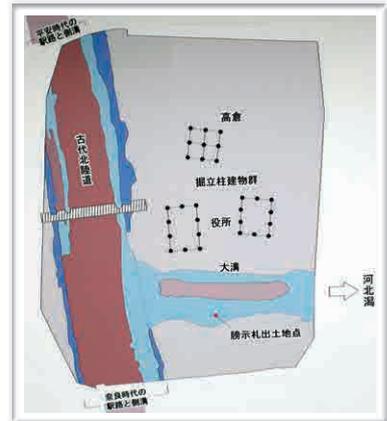
# 訪ねてみよう能登・加賀の遺跡

## 加茂遺跡〔津幡町〕

国道8号津幡北バイパスの発掘調査で発見された加茂遺跡の古代北陸道や加賀郡勝示札の出土した大溝付近は、道路の盛土部分となる工事計画でしたが、目に見えて多くの人が理解できる形で保存することとなり、県道をまたぐ陸橋を延長し、陸橋の下に「加茂遺跡広場」として整備されました。

広場の入り口付近にはパネルが設置されており、津幡町教育委員会の調査を含めたこれまでの発掘調査成果など、遺跡全体の様子が詳しく解説されています。古代北陸道と大溝は、カラー舗装で位置や規模などがわかるように示され、また、加賀郡勝示札出土地点にはプレートが埋め込まれており、すぐ横に加賀郡勝示札について詳しく解説したパネルが設置されています。掘立柱建物は、ちょうど腰掛けるの<sup>ほったてばしら</sup>のよい高さの円柱で、柱の位置がわかるように復元されています。

広場は国道8号の加茂インターチェンジを降りたところにあり、南側に駐車場が設けられていますので、ドライブのついでにでもお寄りいただければと思います。



所在地：河北郡津幡町加茂・舟橋  
 交通：金沢市街地より車で約30分  
 お問い合わせ：津幡町教育委員会生涯教育課  
 電話 076-288-2125

### 平成22年度 発掘調査遺跡

No	遺跡名	所在地	主な時代
1	七尾城跡	七尾市古城町	中世
2	大泊A遺跡	七尾市大泊町	縄文、古墳、奈良・平安、中世
3	加茂遺跡	津幡町加茂	古墳、中世
4	丸の内7番遺跡	金沢市丸の内	近世
5	小立野ユミノマチ遺跡	金沢市小立野5丁目	近世
6	神田遺跡	金沢市神田2丁目	弥生、古墳
7	八日市D遺跡	金沢市八日市1丁目	古墳、平安
8	横江D遺跡	白山市横江町	弥生、平安、中世
9	北安田南遺跡	白山市北安田町	弥生、平安、中世
10	高見遺跡	白山市北安田町	弥生～近世
11	高見スワノ遺跡	白山市北安田町	弥生、奈良・平安、中世
12	道村B遺跡	白山市宮丸町	奈良・平安
13	米永ナデソ遺跡	白山市米永町	平安
14	北出遺跡	白山市米永町	中世
15	宮保B遺跡	白山市宮保町	中世

